

ザ・アメリカ

岡本 悠

ゆうき、にとって、そこは、明るい場所だった！

父、姉、姉の友達の幸子さん、ゆうき、の4人で、アメリカに行くことになった

ゆうき、は、まだ、中学生

姉たちは、高校生

ロサンゼルスと、サンフランシスコに行った

海外に飛行機で行くのは初めて

海外自体初めてだ

まずは、ロサンゼルス

ドジャー・スタジアムには、マウンドに野茂英雄がいた

キャッチャーは、マイク・ピアッツァだ

ゆうき、は、野球をやっていたので、

本場、アメリカの野球に心が躍った

さあ、どうなる？

...

あれ、フォアボールが連続、

どンドン、打ち込まれる

1回もたず KO!

残念ながら、そんな記憶

野球記念館で、昔の名選手のグッズを買う

カラーより、とにかく、白黒写真の選手

周りのアメリカ人の人達は

なんだ?

というように、その姿を見ていた

ロサンゼルスの岩山の観光地に行った

雄大な景色

圧倒された

ユニバーサルスタジオハリウッドにも行った

水上へのジェットコースターが印象に残っている

バスに乗ったら、黒やカラフルの、サングラスをかけている男性がいた

その男たちの顔を見ると、ずっと、こっちを見ている

また、しばらくして、顔を見ると、こっちを見ている

そういう世界観だった

ある時、大きなショッピングホームで、買い物をした

姉と幸子さんは、悪気があったわけではないが

俺をからかい、拗ねさせた

俺は、つまらなそうさ態度で下を向いた

しばらくして、姉が心配してくれた

幸子さんも、向かい入れてくれた

俺は、当時、人気だった、ナイキのシューズを買った

父と2人で、スタンフォード大学の関係の

おじいさんと、おばあさんの、家を訪れた

父は英語を喋れるが

俺は、喋れないので、

父に通訳してもらった

話のくだりで、俺が質問に答えなかった時

父から、質問されたら、答えるようにしなさい

と、言われた

俺の悪い癖だった

質問では、

ロサンゼルス・ドジャースは、好きですか？

と、聴くと、おじいさんは、

スタンフォード大学の学生の野球しか興味がない

と、答えた

そして、別れる時、

スタンフォード大学の帽子をプレゼントしてもらった

俺は、それを被って街の中を歩くと

街の人は父に

「彼は、スタンフォード大学の学生かい？」

と、質問していた

そんなはずはないが...

姉たちは、演劇をしていたので

「オペラ座の怪人」の、ミュージカルを観に行った

あの異様なテーマ曲が流れる

しかし、俺と、父は、寝てしまった

姉と、幸子さんは、喜んでいたと思う

火や仮面が印象に残っている

サンフランシスコに移動した

サンフランシスコ・ジャイアンツの試合が見たいと哀願した

そしたら、父は連れていってくれた

姉や、幸子さんも一緒だ

試合途中、デッドボールをきっかけに、

両軍入り乱れての、大乱闘になった

素手で殴り合っていた

凄い迫力だった

そのうち収まったが、

退場になった選手たちは

一仕事やったように

外野の扉を開けて

出て行った

ホンマモンの大乱闘だった

そんな感じで、アメリカの旅は終わった

日本に帰り、ロサンゼルスで撮った、ロサンゼルスのヘルメットを被った、俺の写真があった、

姉は、「ゆうき、は、野茂に似てる」と言った

確かに、似てなくもなかった

アメリカのお土産に、野球部の仲間の1人の家に行き

白黒写真の、メジャーリーガーの写真を3~4枚プレゼントした

最初は、部屋に飾ってくれたが

見知らぬ選手だったとか、自分の部屋だからか、さまざまな理由があるだろうが、とにかく、いない、返す、と言われた

俺は、少しショックだったが、それでも、そりゃそうだよな、と思った

アメリカという場所は、やっぱり楽しかった

明るいという、記憶だけが残った

いつか、ニューヨークに、行けたらいいな

そこでは、「自由の女神」が待っていた

「完」